

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	6月中		
基準日	定時株主総会および期末配当金 3月31日 中間配当金(実施する場合) 9月30日		
単元株式数	100株		
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部		

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合(特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更およびマイナンバーのお届出などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせをお願いします。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問い合わせ	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)	
ご注意	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。	
公告方法	電子公告によって行います。(https://www.carlithd.co.jp) ただし、事故その他止むを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。	
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場	

 **カーリットホールディングス株式会社**

〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目17番10号
TEL : 03-6893-7070 FAX : 03-6893-7050

<https://www.carlithd.co.jp>

カーリットHD



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

株主の皆さまの **声** をお聞かせください



当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー ●●●



スマートフォンから
カメラ機能でQRコードを読み取り

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を準呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。<https://www.pronexus.co.jp/>
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」✉ koekiku@pronexus.co.jp



株主通信

2024年3月期 報告書

(2023年4月1日—2024年3月31日)



証券コード 4275



- 01 事業領域
- 02 トップメッセージ
- 03 トップインタビュー
- 05 セグメント概況
- 07 連結財務ハイライト
- 08 連結財務諸表(要約)
- 09 トピックス

1918年に「カーリット爆薬」の製造技術を導入して以来、カーリットグループは塩水の電気分解技術をもとに様々な製品を生み出し、人々の暮らしに貢献してきました。

現在は化学品事業部門、ボトリング事業部門、金属加工事業部門、エンジニアリングサービス事業部門の4つの事業領域を通じ、様々な製品・サービスを提供しています。

今後も幅広い事業領域の強みを活かし、社会から必要とされる製品・サービスの提供を通じて産業の発展と人々の豊かな暮らしを支えてまいります。

化学品事業

化薬分野 **C G**、受託評価分野 **H**、化成品分野 **A I**、電子材料分野、セラミック材料分野 **F**、半導体用シリコンウェーハ、その他

ボトリング事業

ペットボトル飲料、缶飲料、委託品

金属加工事業

耐熱炉内用金物 **B**、各種金属スプリングおよびプレス品 **E**

エンジニアリングサービス事業

建築・設備工事、塗料販売・塗装工事 **D**、構造設計



株主の皆さまへ

カーリットグループ一丸となって「2030年のありたい姿」に向け、挑戦を続けてまいります。

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループの2023年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）が終了いたしましたので、決算の概要および今後の事業展開につきましてご報告申し上げます。

事業ポートフォリオに基づく事業領域ごとの経営管理区分の見直しに伴い、2023年4月より報告セグメントを変更しました。これにより注力領域、育成領域の経営体制を強化しています。このような体制の下、今期はいずれの事業分野についても堅調に推移し、売上高・利益ともに前期と比較し増収増益となりました。

また、当社グループは「持続可能な社会に貢献するために“化学”と“技術”の力を合わせ、人びとの幸せな暮らしを支えたい」を「2030年のありたい姿」と掲げております。この「2030年のありたい姿」の達成に向け、2022年から2024年までの中期経営計画「Challenge2024」を策定し、各施策に取り組んでおります。その施策の一つとしてグループの組織体制の変更が必要であると判断し、2024年度に当社と日本カーリット(株)、(株)シリコンテクノロジーの三社合併を行うこととしました。従来の純粋持株会社体制から事業持株会社体制に移行し、事業会社と経営を一体化することにより、一層の成長戦略と経営効率の最適化を図ってまいります。

株主の皆さまには、新たなカーリットグループにも引き続きお力添えを賜りたく、心よりお願い申し上げます。

代表取締役兼社長執行役員 **金子 洋文**

■ 連結業績ハイライト（単位：百万円）

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
36,577 (前期比1.6%増)	3,352 (前期比27.0%増)	3,600 (前期比23.7%増)	2,598 (前期比15.7%増)



中期経営計画「Challenge2024」
最終年度を迎え、
さらなる「改革と成長」を
続けてまいります。

代表取締役兼社長執行役員
金子 洋文

Q 2024年3月期の実績について
教えてください。

2023年度ははまだ世界的な半導体需要低迷の影響が続いており、電子材料分野およびシリコンウェーハ分野は顧客の在庫調整・生産調整によって減収減益となりました。一方、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により社会経済の正常化が進みつつあることからその他の事業分野についてはいずれも堅調に推移し、2023年度の連結の営業利益、経常利益、純利益は過去最高となりました。

また中期経営計画「Challenge2024」および「ローリングプラン2023」の取り組みの実行により業務改善や原価低減等が進んだことが奏功し、売上高営業利益率は2022年度比+1.9%となりました。

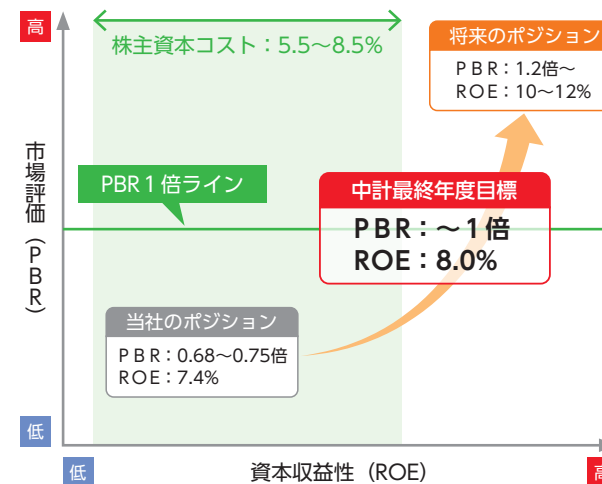
Q 中期経営計画「Challenge2024」の
最終年となる2025年3月期の
見通しについて教えてください。

2024年度は、2023年度と同様に化学品事業（化薬分野や化成品分野等）やボトリング事業、エンジニアリングサービス事業は国内経済動向にあわせ堅調に推移すると予想しています。また半導体サイクルの持ち直しにあわせ、低調であった電子材料分野が2024年度前半から回復、同じくシリコンウェーハ分野が2024年度後半から回復しはじめると予想しており、2023年度比増収増益となる見通しです。

また、中期経営計画に掲げる5つの戦略（成長事業の加速化、研究開発の拡充、既存事業の収益性改善、ESG経営の高度化、事業インフラの再構築）を推進することで、業績推進だけでなく資本収益性の向上や市場評価の改善も進めてまいります。

Q 「Challenge2024グローアップ
プラン2024」が策定されましたが、
ポイントについて教えてください。

中期経営計画「Challenge2024」の最終年度にあたり、経営環境の変化に柔軟に対応し更なる成長を目指すことを目的に、昨年度策定した「Challenge2024ローリングプラン2023」に続く中期経営計画「Challenge2024 グローアッププラン2024」を策定し、資本コストや株価を意識した経営を進めております。「グローアッププラン2024」では資本収益性と市場評価について下図のとおり分析し、当社のポジションを確認するとともにPBRとROEの目標を定めました。また、それらをもとに具体的な取り組みについても「ローリングプラン2023」からアップデートを行い、「政策保有株式の縮減方針」、「設備投資計画・成長投資の進捗」、「研究開発の推進による成長期待醸成」、「業績連動型の安定配当」の4つの取り組みを取り上げ、



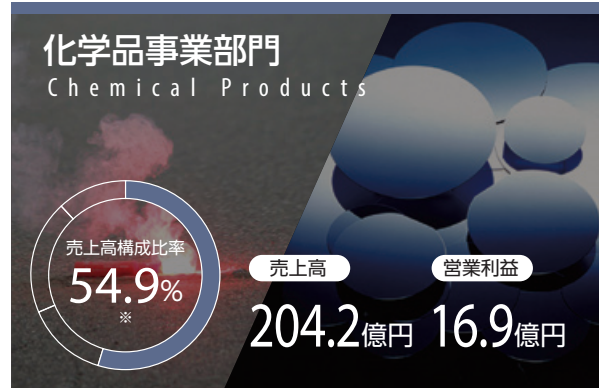
進捗や目標値などの詳細を示しております。

今後も、中期経営計画「Challenge2024」を骨子に「ローリングプラン2023」および「グローアッププラン2024」を推進することで、中期経営計画の達成ならびに「2030年のありたい姿」の実現に向け邁進してまいります。

Q 2024年10月には日本カーリット(株)、
(株)シリコンテクノロジーとの
三社合併が控えています。
改めて今回の合併の狙いについて
教えてください。

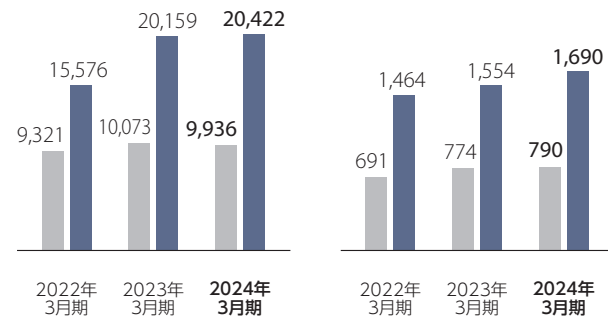
当社、日本カーリット(株)、(株)シリコンテクノロジーの三社合併ならびに事業持株会社体制への移行は、「事業インフラの再構築」戦略の一環として意思決定の迅速化・管理部門のスリム化・人員のリバランス等を行うことが目的です。また中期経営計画「Challenge2024」に掲げる事業ポートフォリオ経営の推進という点においても、注力・育成領域を基軸として経営を一体化することで、成長戦略の推進と経営の効率化を図るものです。

企業経営を取り巻く環境が厳しさを増している今こそ、経営理念「信頼と限りなき挑戦」をもとに、従業員全員の力を集結して積極果敢に挑戦し、信頼のモノづくりとサービスで安心と豊かさを届け、「2030年のありたい姿」の実現を目指すことで企業価値を向上してまいります。株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



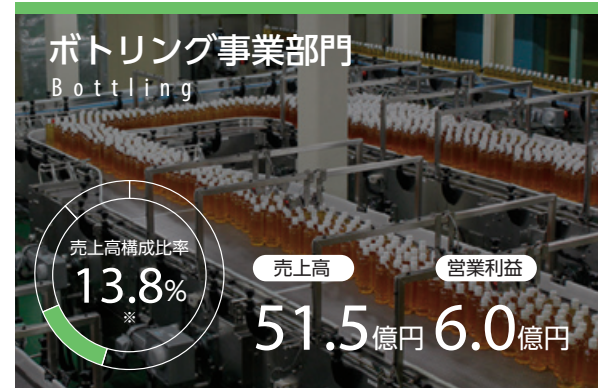
売上高 (単位:百万円) 営業利益 (単位:百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



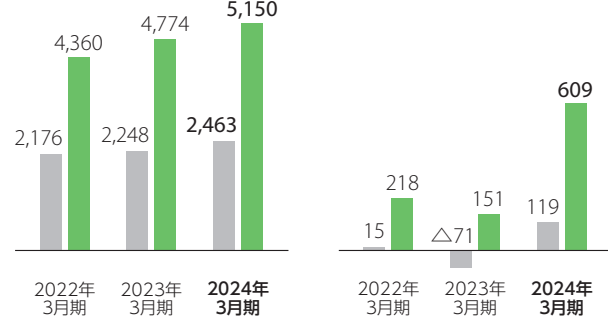
POINT

化薬分野は発炎筒関連製品の好調、受託評価分野は電池開発の活況、化成品分野は顧客需要増により、いずれも増収増益となりました。一方、電子材料分野、セラミック材料分野、シリコンウエーハ分野は主要顧客の需要の落ち込みにより、減収減益となりました。



売上高 (単位:百万円) 営業利益 (単位:百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



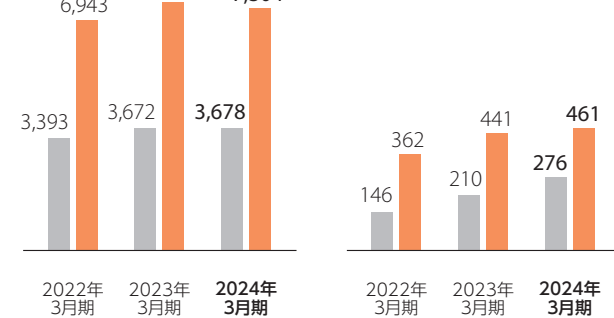
POINT

ペットボトル飲料販売量は個人消費とインバウンド需要の高まりにより、順調に推移しました。また適正価格の維持およびコスト改善の取り組みにより、増収増益となりました。



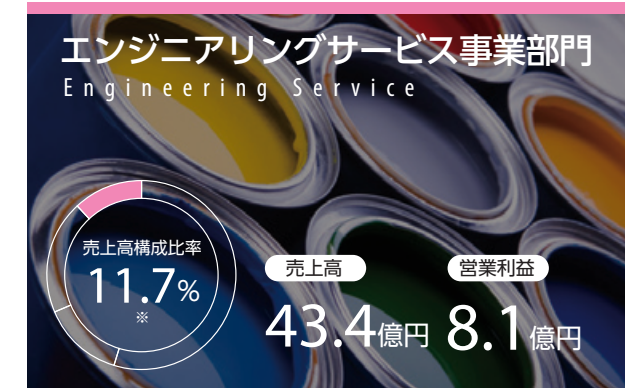
売上高 (単位:百万円) 営業利益 (単位:百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



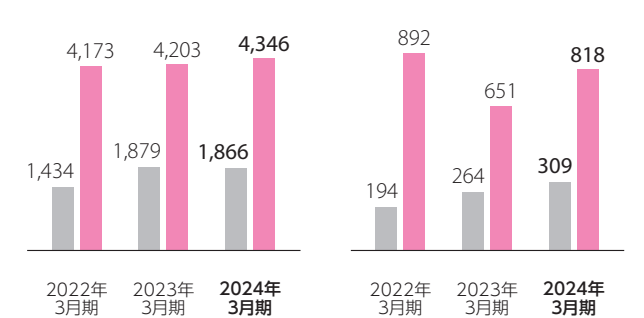
POINT

耐熱炉内用金物は安定的成長と採算性重視を目的とした前期の関連子会社売却、販売品目の構成見直しにより減収となった一方、適正価格の維持や強みある商品へのリソース集中等の推進により、増益となりました。各種金属スプリングおよびプレス品は、第3四半期までは需要全体が好調により増収となった一方、第4四半期からは主要取引先の需要が大きく落ち込み減益となりました。



売上高 (単位:百万円) 営業利益 (単位:百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期

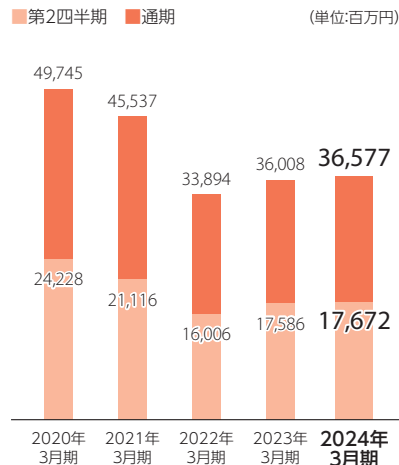


POINT

建築・設備工事は、工事数の増加により増収増益となりました。塗料販売・塗装工事は、前期に計上した大型スポット案件の反動により減収となった一方、市場環境の好調により増益となりました。構造設計は、収益性の高い案件の増加により増収増益となりました。

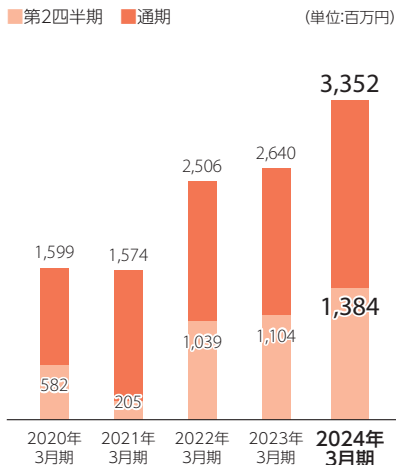
※その他、消去を抜いた数値で表示しております。

売上高
36,577 百万円(前期比1.6%増)

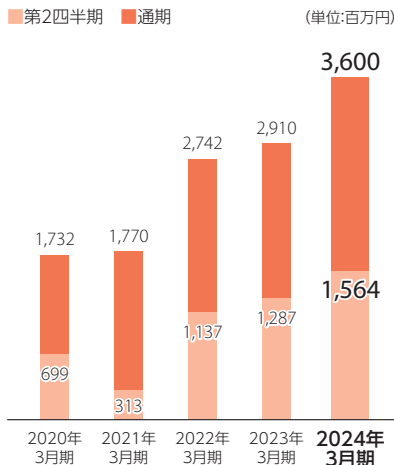


※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用

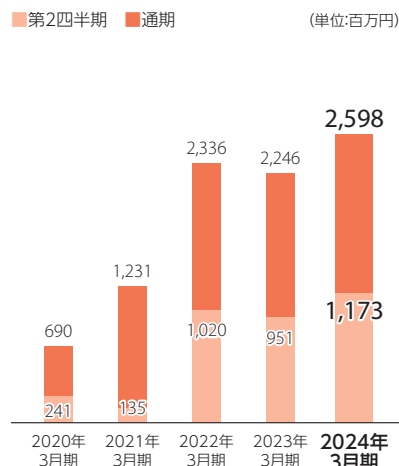
営業利益
3,352 百万円(前期比27.0%増)



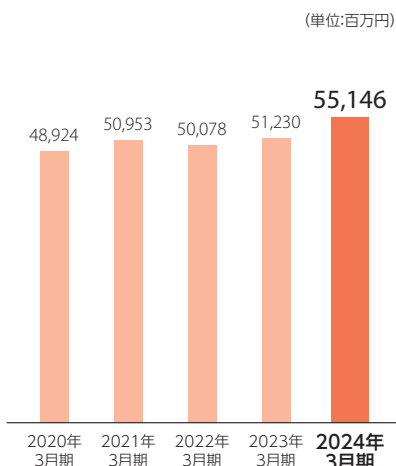
経常利益
3,600 百万円(前期比23.7%増)



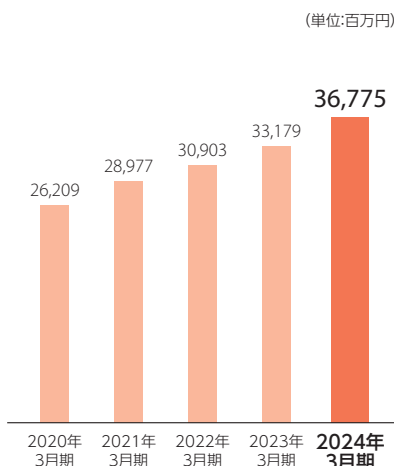
親会社株主に帰属する純利益
2,598 百万円(前期比15.7%増)



総資産
55,146 百万円(前期比7.6%増)

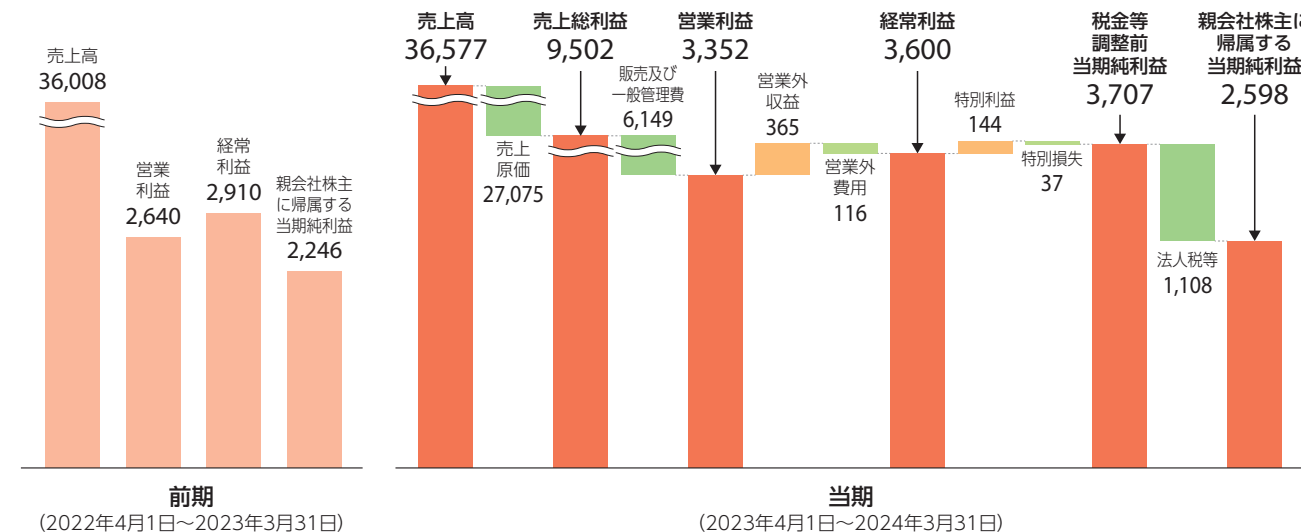


純資産
36,775 百万円(前期比10.8%増)



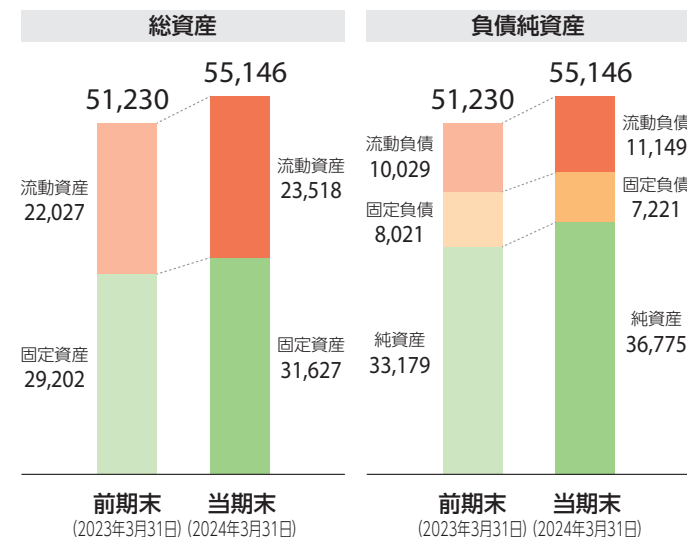
(単位:百万円)

連結損益計算書



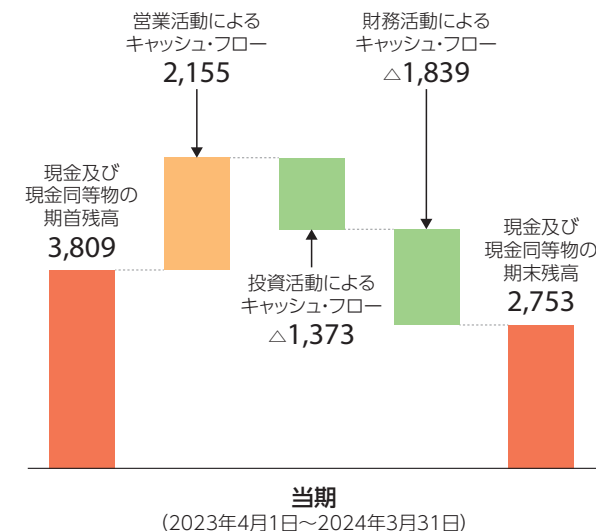
(単位:百万円)

連結貸借対照表



(単位:百万円)

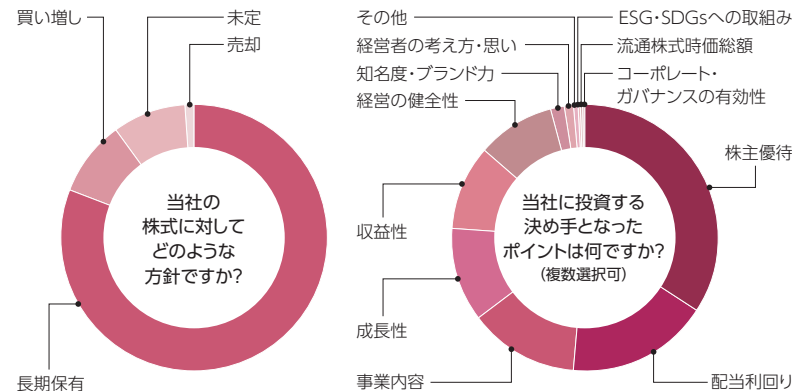
連結キャッシュ・フロー計算書



アンケート結果のご報告

前回の「中間株主通信」において、アンケートを実施させていただきましたところ、合計1,026名の株主さまよりご回答をいただきました。貴重なご意見は、今後のIR活動および株主通信作成の参考にさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。



株主優待のご案内

毎期末（3月31日）、株主名簿に記載されている株主の皆さまに株主優待としてUCギフトカードをお送りいたします。

- 実施回数 3月31日を基準として年1回実施
- 送付時期 6月末（株主関係書類と同封）
- 長期保有の条件について

保有期間3年以上の株主さまを長期保有と判定しております。長期保有については、3月末および9月末を基準とする当社株主名簿をもとに、同一の株主番号で、100株以上の当社株式を継続して7回以上保有していただいている回数にて判定いたします。

本年度の長期保有の対象株主さまは2021年3月末時点の当社株主名簿に記載された株主番号と同一であり、継続して保有いただいていることが条件となります。

所有株式数については、2024年3月末時点の所有株式数のみで判定いたします。なお、保有期間中に証券口座を変更、貸株をされますと、株主番号が変更される可能性がございます。

所有株式数	内容	
	保有期間3年未満	保有期間3年以上
100～499株	UCギフトカード 500円分	同 1,500円分
500～999株	UCギフトカード 1,000円分	同 2,000円分
1,000株以上	UCギフトカード 1,500円分	同 2,500円分

●適用対象例

年度	2021.3	2021.9	2022.3	2022.9	2023.3	2023.9	2024.3
回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
保有株式	100株	100株	100株	100株	100株	100株	100株
ギフトカード金額	500円分	500円分	500円分	500円分	500円分	500円分	1,500円分

★2021年3月末日が初記載

年度	2021.9	2022.3	2022.9	2023.3	2023.9	2024.3
回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目
保有株式	100株	100株	100株	100株	100株	100株
ギフトカード金額	500円分	500円分	500円分	500円分	500円分	500円分

★2021年9月末日が初記載

詳細は当社HP ▶▶ <https://www.carlithd.co.jp/ir/stock/benefit.html>



会社概要

●会社概要 (2024年3月31日現在)

商号 カーリットホールディングス株式会社
 (英文社名 Carlit Holdings Co.,Ltd.)
 設立 2013年10月1日
 資本金 2,099百万円
 従業員数 1,067名(連結)

●主なグループ会社 (2024年3月31日現在)

- 化学品事業部門
 - 日本カーリット株式会社 化学・化学品・電子材料品・研削材・煙火用材料等の製造・販売、危険性評価試験および電池試験の請負
 - 株式会社シリコンテクノロジー 半導体用単結晶シリコンおよび半導体用シリコンウェーハの製造・販売
 - 佳里多(上海)貿易有限公司 化学品および電子材料等の仕入・販売
- ボトリング事業部門
 - ジェーシーボトリング株式会社 清涼飲料水のボトリング加工・販売
- 金属加工事業部門
 - 並田機工株式会社 各種耐熱炉内用金物の製造・販売
 - アジア技研株式会社 スタッドおよび溶接機械の製造・販売
 - 東洋発條工業株式会社 自動車および建設機械向け各種金属スプリングおよびプレス品の製造・販売
- エンジニアリングサービス事業部門
 - カーリット産業株式会社 エンジニアリング、建設業務、白蟻防除の施工・請負
 - 南澤建設株式会社 建築工事・土木工事の設計・施工
 - 富士商事株式会社 工業用塗料販売および塗装工事
 - 株式会社総合設計 建築物、工作物、上下水・排水処理施設等の設計および監理
 - 株式会社エスディーネットワーク 建築の設計および監理並びにコンサルタント業務

●役員 (2024年6月27日現在)

- | | | | |
|----------------|-------------------|-----------------|------------------|
| 取締役 | 代表取締役社長執行役員 金子 洋文 | 監査役 | 常勤監査役(社外)* 岩村 伸一 |
| 取締役兼執行役員 小川 文生 | 取締役兼執行役員 山口 容史 | 監査役(社外)* 三田村 玲子 | 監査役 青木 章哲 |
| 取締役兼執行役員 岡本 英夫 | 取締役兼執行役員 高橋 茂信 | 監査役 岩井 常道 | |
| 取締役(社外)* 新保 誠一 | 取締役(社外)* 村山 由香里 | 執行役員 | 執行役員 天内 心 |
| 取締役(社外)* 藤原 康弘 | 取締役(社外)* 藤原 康弘 | 執行役員 中津 隆一 | 執行役員 引地 智則 |

*を付した役員は東京証券取引所に独立役員として届け出ております。

株式の状況

●株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数 80,000,000株
 発行済株式の総数 24,050,000株
 単元株式数 100株
 株主数 31,286名

●大株主 (2024年3月31日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	2,598	10.8
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託 丸紅口 再信託受託者 (株)日本カストディ銀行	1,997	8.3
日油(株)	915	3.8
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 (株)日本カストディ銀行	913	3.8
長瀬産業(株)	700	2.9
明治安田生命保険(相)	700	2.9
(株)日本カストディ銀行(信託口)	608	2.5
芙蓉総合リース(株)	522	2.2
関東電化工業(株)	464	1.9
ダイソーケミカル(株)	418	1.7

●所有者別株式分布状況 (2024年3月31日現在)

